



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2016年12月No.415  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『笑顔と感謝の1年に』 国際会長 : 『私たちの未来は、今日から始まる』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を!』 中西部部長 : 『世界をみつめ、地域とあゆむ』	会 長 : 藤井 大祐 副会長 : 三浦 直之 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 松浦 和子 Y連絡職員 : 船戸 輝久

## Biblical Message of December

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです」。

(マタイによる福音書2章1~2節)

## 和食の日

山中 秀男

2013年ユネスコは四季の移ろい、風土に調和した日本の和食文化を無形文化遺産に認定し11月24日を和食の日としました。何故この日が決められたのか、諸説紛々有るが、最も納得性の有るのが11月24日を“いい にほんしょく”と読み解いてものだ。秋は実りの秋、自然に感謝し、五穀豊穡を祈った昔の新嘗祭(11月23日)の次の日を語呂合わせで決めよう。日経が当日の夕刊5ページを使って、5名の和食エキスパートに、意義を語らせている。伊藤雅俊氏(味の素会長、食文化センター理事長)、佐竹力総氏(美濃吉社長、日本フードサービス協会会長)、鳥井信吾氏(サントリーホールディング副会長、3代目マスターブレンド)が型通りの意義を述べ、次の2氏が幅広い展開を試みた。建築家・隈研吾氏、築の本質は「和」であり、和食とは木を通じて志を同じくすると五輪主会場の木造建築を説いている。音楽家・葉加瀬太郎氏も和の心が進化形の音楽と語らせ、コンサートで扇子を振り、盛り上げる様子を“ハカセンス”と表現している。いやはや、ユニークなキャンペーンでした。

## December Club Meeting

『EMC-M』

### 第12月例会(クリスマス例会)

日 時 : 2016年12月4日(日) 18:30~20:30 (受付18:00)  
 場 所 : サンドウィッチ・ファクトリー (大阪市西区京町堀1-13-2)  
 TEL: 06-6445-6262

(四つ橋線本町駅28番出口より徒歩5分)

司会 : 角地 正直 君(補佐 : 何早林 君)

1. 開会 藤井 大祐 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 松浦 和子 メネット
4. ゲスト・ピジター紹介 藤井 大祐 会長/藤原 正巳 君
5. 今月の強調月間 藤井 大祐 会長
6. 晚餐 一同
7. クリスマスソング 角地 正直君(テノール)  
中井 祥子 メネット(ソプラノ)  
南 なほきさん(ピアノ)  
ハネリマカヒキウクレレクラブ  
各メンバーから
8. ウクレレ
9. 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
10. 誕生祝い・ニコニコ献金 一同
11. 閉会 藤井 大祐 会長

※会費は、4,500円(コメントは無料)

お誕生日 : 岡本、何、中村隆の各メン、何メンのコメント2名、

ミャンマーからの留学生1名

※プレゼントは、山中メンがご用意ください。

例会担当 : 3班=石津、岡本、谷川、松浦、三浦の各メン

### 12月第2例会

日時 : 2016年12月14日(水) 18:30~20:30  
 場所 : 土佐堀YMCA会館4階

## 【クラブ統計 Statistics】

11月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21名	メ ン	16名	9名	11月 0g	11月 : 14,500円
例会出席 14名	メネット	4名	0名	現 金 0円	
うちメーキャップ	ピジター	0名	0名	累 計	オ-カ-ヨ-ン : 5,400円
0名	ゲ ス ト	3名	0名	切 手 204g	
出席率 85.7%	合 計	23名	9名	現 金 0円	累 計 : 205,846円

ヨーロッパ北部では、12月25日は「太陽」を祭る日でした。この日になると、日が長くなり、太陽が勢力を盛り返すかのように、人々の目に映っていたのです。

「神は人間としてお生まれになった」ことをその地の人々に伝え、太陽を祝うように、イエス キリストの誕生を祝うようにしたのです。

(聖句選/コメント:松浦 和子)

(次号は山田孝彦さんです)

## 11月第1例会報告

と き:2016年11月16日(水)18:45~20:45

ところ:ホテルグランヴィア大阪20階

11月16日、ホテルグランヴィア大阪で、メン、メネット、ゲストら23人が集まり、例会が開催されました。この日のハイライトは、元関西日本電気ソフトウェア株式会社の元社長の川辺勝さんの卓話。「姿を見せない縁の下の力持ち・海底ケーブルシステム」というタイトルで、私たちには馴染みのうすい「海底ケーブルシステム」をお話しいただきました。この海底ケーブルシステムの知識がなくても、私たちは国内外の電話を普通にしていますが、国際通話の99%がこのシステムで行われ、残りの1%は衛星経由で行われているようです。海底ケーブルは約40年の寿命で、1本のケーブルに12億の電話チャンネル(8Tビット)を伝送することができます。またそれは海底の最大8,000メートル(約24,400フィート)の深さに敷設することができます。川辺さんは、世界のほぼすべての国でNECの通信システムを輸出してきました。彼のキャリアで最も興味深いのは、1972年にNECの移動可能な衛星通信システムを介して中国北京で開催された外交関係修復の調印式にテレビで参加した経験だったそうです。式典では、当時の日本の首相であった田中角栄首相と、中国の周恩来首相が堅く握手をしました。

このシーンは、世界中の関係者に非常に強い影響を与えました。また、NECの現地法人の責任者として、6年間ブラジルに駐在し、ブラジルの国情についても話し頂きました。

ブラジルは世界で最も豊かな資源国の一つですが、実際には、絶望的な貧困、不安定な政治的、経済的状況と、大きな問題を抱えています。彼が私たちに語ったことはとても興味深く、多くを学ぶことができました。

(英文報告から)



私たちの知らない話を興味深く話す川辺勝さん

☞☞☞ Club Activities November, 2016 ☞☞☞

On November 16, our club's dinner meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 23 Y's men, Y's menettes, Y'sling and guests in attendance. The highlight of the meeting was a speech made by Mr. Masaru Kawabe, former president of the Kansai NEC Software Co., Ltd., Osaka. Under the title of "An essential invisible communication system", he told us the "Submarine cable system" which was so indispensable to our daily communications but not familiar to us.

Although we casually make domestic and international telephone calls with no knowledge of this submarine cable system, 99% of our international calls are made through this system and the rest of only 1% are made via satellites. The submarine cable is able to transmit 1.2 billion telephone channels (8T-bit) in one cable with almost 40 years' life time. It can be laid down maximum 8,000-meter (about 24,400ft) depth of seabed. Mr. Kawabe was in charge of exporting NEC's communication systems almost all of the countries in the world. In his carrier, the most interesting one was an experience he participated in televising the signing ceremony of the restoration of diplomatic relations held in Beijing, China in 1972 via NEC's transportable satellite communication system.

At the ceremony, Mr. Kakuei Tanaka, then Prime Minister of Japan, and Mr. Zhou Enlai, his counterpart of China shook hands firmly. This scene gave very strong impact on the people concerned throughout the world. He also covered state affairs of Brazil where he had stationed for 6 years as head of a local subsidiary of NEC. Brazil is one of the richest resource countries in the world but actually it has immense problems as desperate poverty, unstable political and economical situations. What he told us were so interesting and we could learn a lot from him. Yen14,500 was collected as the club's smiling fund.

再度、ブラジルからの一行を迎えました。防災関連のチームですが、彼らは経済に関する知識も豊富に持ち、日本経済にも強い関心をもっていました。ブラジルは、ご存知、BRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国）の一員です。いずれも世界で上位の人口大国で、国内需要の大幅な拡大が見込まれる、と以前は予想されていた。目下、4カ国とも世界的資源の需要低迷に喘いでいます。ブラジルは、昨年度のGDPが前年対比で3.8%の落ち込みを記録、世界的資源安が影響しています。彼ら研修員と日伯の国内総生産（GDP）の比較をすると興味ある事実が判明しました。日本のGDP全体のなかで、消費（サービス）は60%を占めます。ブラジルの消費は日本より大きく66%に達します。先進国型の日本の消費が60%は理解できますが、開発途の同国で、日本を超える消費構造は歪です。日本の最近の輸出割合は15%程度。対するブラジルは、4%と小さく、資源輸出に依存する国でありながら付加価値をつけた輸出が伸び悩んでいることが判明。同国の半国有の石油会社Petrobrasの収入は、なんと前年度比85%も落ち込みを記録しました。同国の最大の問題点は、政府の無駄使いです。国家収入を超える支出を抑えるように厳しく制限するという「政治の安定が第一」の優先事項だ、と来日一行は強調。次の優先目標は「腐敗の撲滅」で、ルセフ前大統領は、政府会計を不正に操作したとして、弾劾裁判で罷免されました。BRICs各国は当初、資源が豊富であり、人口も多く、将来性を有望視されていましたが、目下、多くの問題を抱えて喘いでいます。



再度、ブラジルの防災関連の一行を迎えて

## 11月第2例会報告

と き : 11月26日(水) 18:30~20:30

と ころ : 大阪YMCA会館4F

出席者 : 大村、岡本、芝田、中村隆、中村茂、藤井、松浦、三浦、山田の各メン

## 〈ワイズ活動〉

1/21(土)中西部会 出席 : 藤井

2/4(土)~5(日)第2回東西日本区交流会 : 東山荘

参加予定 : 大村、谷川、三浦の各メンと坂本メネット

## 〈クラブ活動〉

① 1/21(土)1月例会(中西部合同新年会)大阪YMCA  
(開場 : 11:30、開演 : 正午、終演 : 15:00)

会費 : 6,000円

第一部 式典

第二部 癒しの音楽

第三部 懇親会

(参加締め切りは、1/10)

(第2例会議事録より抜粋)

## YMCAニュース

## ☆第284回 早天祈祷会

日時 : 12月16日(金) 7:30~8:30

奨励 : 武久 盾さん(日本基督教団東梅田教会伝道師)

場所 : 大阪YMCA会館10階チャペル

## ☆土佐堀YMCAクリスマスチャリティーコンサート

日時 : 12月2日(金) 18:30開演(18:00会場)

場所 : 大阪YMCA会館10階チャペル

入場料 : 1,000円(1ドリンク付き)

出演 : OSAKA MEN'S CHORUS

## ☆大阪YMCA大会2016が開催されました!

11月23日(祝)土佐堀会館にて大阪YMCA大会2016が開催されました。午前中、Yアクターフォーラムでは、ユースを中心に約150名の参加者が持続可能な世界実現について考えました。また、Yアクショングループ会議では、各ボランティア代表者が活動報告を共有しました。午後は、大ホールにて約180名の参加者による「Yボランティアの集い」が開かれ、奉仕の書授与、各種表彰式および国際奨学金の授与式等が持たれ、事業・活動報告も行われ、交流と研鑽の時間を共にしました。

## ☆クリスマス献金にご協力をお願いします!

\*個別支援プログラム支援金…地域における課題解決(地域支え合い・交流、世代間交流、児童養護施設招待キャンプ、子育て支援など)のプログラムのために

\*国際奨学金支援金…海外からのユースの勉学支援

\*国際協力募金…日本YMCA同盟が行う国際支援活動(災害、紛争、貧困等の解決)

\*国際協力活動支援金…グローバル社会に平和を創りだすアジアのユース育成

\*青少年育成活動支援金…チェンジメーカーとして社会課題解決に参画する青少年育成

【期間】11月1日(日)~2017年1月31日(火)

【お問合せ】お近くのYMCAまたはクリスマス献金事務局

(TEL: 06-6441-0894)

船戸 輝久





## ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

### 《ビジターからのメッセージ》

○久しぶりにセンテニアルクラブの例会に参加させていただき、なつかしく、うれしい時間でした。「クリスマス・チャリティコンサート」にいつもご協力を頂き、ありがとうございます。(岩間 みどり)

○今日はありがとうございました。クリスマス献金、よろしくをお願いします。(湯浅 禎也)

### 《会員、メネットからのメッセージ》

○現代の安定した通信システムは、生活に潤いを与えていると思います。日本の技術レベルの高さに感謝です。(石津 雅人)

○現在の、便利な世の中の土台を作られたお話。私たちの大先輩が築いてくれたと思うと、とても誇りに思いました。川辺様、ありがとうございました。(岡本 剛介)

○「トーチカ」、文字で見たことはありましたが、初めて言葉で聞きました。貴重なお話をありがとうございました。(角地 正直)

○川辺さんのたのしいお話興味深く聞かせていただきました。(大村 肇)

○久々に、元ヴェクセルクラブの岩間みどりさんが来られ、大変うれしかったです。(坂本 千春)

○海底ケーブルの話、大変面白くお聞きしました。(谷川 寛)

○明日の表コミのお茶会を楽しみにしています。(中村 幸枝)

○あたりまえに毎日使っている「ケータイ」の技術に改めて感謝しました。

12月のクリスマス例会、楽しみです♪

たくさん歌います♪

(中井 祥子)

○大きなプロジェクトにたずさわられ、貴重な人生の体験をなさった、非常に興味深いお話を伺いました。ありがとうございました。(藤井 大祐)

○クリスマス献金のアピールに岩間さん、湯浅さん。またゲストスピーカーに川辺さんをお迎えして、素晴らしい時間を共にさせていただき、感謝の日となりました。海底ケーブルの話は、本当に新鮮でした!(船戸 輝久)

○いつも 付き合っているながら、これほど海底ケーブルが有用であることを知りませんでした。日本の技術もなかなか大したものですね。(藤原 正巳)

○貴重な40年前の中国の話が聞けて、とても参考になったし川辺さま、ありがとうございました。あまり知らない情報通信のインフラ「海底ケーブル」をめぐって大変ご苦労なさったお話、すばらしい日本の力だと感じ入りました。

岩間みどりさん、当ワイズに入られませんか。

(松浦 孝次)

○川辺さんの海底ケーブルのお話、大変興味深かったです。華やかなIT時代の、縁の下の力持ちであることを実感いたしました。(三浦 直之)

○川辺さんのユニークな体験を、分かりやすくお話いただき、興味深々でした。素晴らしい卓話に感謝します。

(山中 秀男)

○川辺様のお話は興味あり、キュリアス心をくすぐられました。岩間みどりさん、12月例会にもお待ちしております。

(山中ちあき)

○いつものことですが、センテニアルワイズの仲間と時を過ごす、つい自分の「歳」を忘れて、楽しい「ひととき」にひたってしまいます。この意気を忘れず、これから「若い」日々を送りたいと思います。～感謝～ (山田 孝彦)



### 一期一会の茶道の世界

11月17日(木)、表コミ3年生の総合学習で、毎年恒例となっている「茶道体験教室」を実施しました。

お茶をいただく前に、まずは茶道の心得である「一期一会」の精神や、「我唯足るを知る」という思想についてお話いただきました。授業とは一味違うお話しに、生徒たちはみな食い入るようにお話しに聞き入っていました。また、茶室の入り口である「躰(にじ)り口」についてのお話は、多くの生徒にとって非常に印象的なものでした。縦横約60cm四方の躰り口は、どんなに位の高い武士でも兜や刀を持っては入れず、誰もが頭を下げて入ってくることで、茶室にいる人はみな平等である空間を実現した、そしてその考え方は、ルカによる福音書の「狭き門より入れ」の思想と通じるものであると紹介して下さい、日本文化の奥の深さと、文化を超えた普遍的な価値観について学ぶことができました。

その後、お茶の飲み方・作法を教えていただき、和菓子とお抹茶をいただきました。希望の生徒は、自分でお茶を点てることから体験させていただきました。無心でお茶を点てることに集中したり、静かな気持ちでお茶をいただいたりと、普段の学校とはまったく違う時間の流れの中で、生徒もいつもとは違う穏やかさを見せていたように思います。授業の後も、「すごくいい時間だった」、「日本の文化っていいなあ」などの声が口々に聞かれました。

#### 【生徒感想(一部抜粋)】

- ・一期一会という言葉をお話しがありましたが、この場でこのメンバーでこのような体験をすることは一生に一度で、こんなに楽しい時を皆で過ごすことができ嬉しかった。
- ・今までサービスを受ける側とする側にわかれていたと思っていたので、「一緒に対等な立場で楽しむ」ということに驚いたと同時に、おもてなしとはそういうことなんだと思いました。
- ・先生方の講義の中にあつた「見て、聞いて、書いて、覚える」という勉強法を、学習生活に活かしていきたいと思いました。
- ・茶道と聖書に共通点があることが一番驚きでした。

今まで茶道は日本独特のものであるという考えが先行していたので、他の文化との共通点を見つけようとするところをしてみませんでした。今回の授業でそれを見つけることができたのは私にとって貴重な体験でした。

大阪 YMCA 表現・コミュニケーション学科・齋藤 郁恵